

せきれいのみち・早渚公園・せせらぎ公園を散策する 資料

2020.11.25 島田

◆待橋（まつはし）

以前掛っていた橋は、松で出来ていたので「松橋（まつはし）」と呼ばれていたが、早渚川の河川改修工事（昭和44年から昭和58年）により昭和50年に現在のコンクリート製の橋にかけ替えられた。



そこで松では相応しくなく、昔「恋人が恋人の来るのをこの橋の上で待つ」言う唄があったことから、松の木で造った橋ゆえ“まつはし”というのだから、松と同音である“待橋(まつはし)”と名付けられたと言われている。

◆早渚かなりあ公園



面積は400平方メートルに満たない、小さな公園だ。公園は全体が小高い丘を成しており、特に北東側は視界の開けた草はらの丘になっている。丘の上からは早渚川河畔の風景を眺めることができる。

名前の由来であるが、都筑区図書館の委員によると推測であるが次のようである。

港北ニュータウンの小さな公園は、児童公園と位置付けられた。調べてみると早渚かなりあ公園の周りには「ひばり」「やまどり」の名前がついている。その他「さくらんぼ公園」「ひめりんご公園」「夏みかん公園」や「東山田ゆうやけ公園」「東山田あけぼの公園」「東山田あさやけ公園」などがあるのです。

どうも幾つかの児童公園を1つの輪として子供たちが好きな「昆虫」「鳥」「果物」・・・などの名前を付けたのではないかと。

◆せきれいのみち・せせらぎ公園再整備

2018年12月 都筑区緑道再整備ガイドラインに関する意見交換会が実施。

2019年4月 都筑区緑道再整備ガイドラインが発表される

*緑道再整備のコンセプト

- 1) 当初の緑道の設計思想を最大限尊重しつつ、変化する社会情勢に対応した緑道を目指します
- 2) 多様な利用形態に対応するため、緑道が区民生活に果たす役割によってゾーニングし、それに応じた整備を行います
- 3) 再整備から維持管理に至る各段階において、港北ニュータウンの理念「市民参加のまちづくり」を継承するよう工夫します。

*具体的整備の考え方

- 1) 当初の仕様を活かす・・・残せるものは積極的に残す工夫を
- 2) 素材を活かす・・・素材そのものの姿・形・質感を重視する
- 3) 機能を分散・複合化する・・・機能や要素を多様に兼ねる・分散させる

*対象となった公園緑地

1) 緑道

- ①ふじやとのみち
- ②くさぶえのみち
- ③せきれいのみち
- ④ささぶねのみち
- ⑤ゆばえのみち

2) 上記の緑道と接続し緑道網を構成する都市公園（鴨池公園、茅ヶ崎公園等）

*せきれいのみち・せせらぎ公園再整備の実施

2018年10月に改良工事に対する意見交換会が行われ、その後実施。

*歩行者と自転車の通行の安全確保のために下記の対策を行う。

1) 自転車と人との共存

- ①自転車通路を明確にした。
- ②道路の拡幅
- ③舗装を脱色アスファルトに変更
- ④木のデッキで歩行者通路の拡幅
- ⑤せせらぎ公園の自然石ベンチから木製ベンチに入れ替え



*詳しく知りたい方は、都筑区土木事務所のホームページをご覧ください。

◆せせらぎ公園

1974年着工し1991年完成した港北ニュータウンに設置された公園で、面積は55,955平方メートル。



池の奥には江戸時代中期から後期に建てられた「旧内野家住宅」と江戸時代末期に建てられた「旧小杉家長屋門」がそれぞれ移築されている。

春には桜が、夏は池に睡蓮が咲き、秋には紅葉と四季折々を楽しませてくれ横浜市民の憩いの場となっている。

◆東京横浜独逸学園

東京横浜独逸学園は東アジアに現存するドイツ在外学校の中で最も古い学校で、1904年9月に日本で初めてドイツ学校が横浜の借家を利用して誕生した。在籍した生徒は3国籍9名の男女であった。

その後、2回にわたる大火、1923年9月の関東大震災、2度の世界大戦、そして2011年の東日本大震災等に見舞われ校舎の移転、再建そして休校を余儀なくされた。

1953年9月に東京独逸学校協会が発足され、12月に初めて17名の生徒で学校を再開。



1967年11月に東京都の大森に新築した校舎へ移転。日本とドイツの関係が深まるにつれ1970年以降生徒数は急激に増加し、校舎が手狭になり横浜市都筑区仲町台の新校舎建設に着手。1991年9月に450名の生徒で授業を開始。生徒数が再び急増し、2010年に校舎の4階を増築。現在の生徒数は500名を超えている。

毎年10月に開催される「オクトーバーフェスト」には、5000人を越える来場者がるといふ。

ヴィジョンは、様々な言語・民族的ルーツを持つ児童生徒に、ドイツの制度に基づき、かつ国際的に通用する確かな卒業資格の取得機会を提供することである。それにより、将来、世界の主要コミュニケーション・学術言語を駆使し、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指す。DSTYは「すべての人のための学校」。以下のような理由で誰かが差別されることはなし。

- ・民族的ルーツ・国籍・宗教・社会的地位・言語・学習能力・障害・その他の違い

◆正覚寺

正覚寺は、神奈川県横浜市都筑区にある天台宗の寺院で「長窪山総泰院正覚寺」と号し、文禄二年（1593年）僧快栄上人の開基とされている。



「都筑橋樹薬師霊場」の第七番札所であり、寅年にこの薬師如来が御開帳される。

本堂は、文化年中に焼失し文化八年に再建されたが、関東大震災で半壊し、大正十四年に修復された。以降、改修を重ねながら今日まで維持されている。本堂内には、本尊の「虚空蔵菩薩」と脇本尊の「薬師瑠璃光如来」が安置されている。

「虚空蔵菩薩」（秘仏）は、御丈一尺二寸の坐像、春日親王の作と伝えられている。脇本尊として、恵心僧都の作と伝えられている。

納骨堂には、阿弥陀如来が安置されている。

「心のふる里」の碑は、第二次世界大戦中、正覚寺では学童疎開が行われており、多くの子供たちが、戦火を逃れ境内の防空壕で過ごした。境内には、当時使用されていた井戸が残っている。その他「鐘楼堂」「大鷲神社」がある。

境内には梅、桜、つつじ、花菖蒲、あじさい、睡蓮、紅葉があり四季折々の景観が楽しめる